

カウントダウン その3

さあ、3カウントです。後期選抜が実施されます。募集定員は2名です。

3月25日に合格発表。26日に合格者全員で合格オリエンテーションです。

この間、福島県は、臨時休業期間を延長し、少なくとも3月31日までは、生徒登校禁止、部活動禁止の継続を決定しました。しかし、この間、生徒の動向がまるっきり把握できないことから、生徒登校日を1, 2日設定してもよいという通知が参りました。よって、別紙(ホームページのお知らせ)のように磐城高校では設定しましたので、どうぞよろしく願いいたします。

2001年のニューヨークの事故、2011年の東日本大震災と原子力発電所事故、そして2020年の新型コロナウイルスの全世界における蔓延は、大きな危機が波のように人類を訪れることを暗示しています。今後、予想される危機に対して、我々は課題を共有し、リスク・マネジメントに努めなければなりません。学校においても、まずは生徒一人一人の安心安全と学力の向上、生徒の希望進路の達成、健康な心身をつかさどる体力の維持、豊かな心と包容力を養い、他人をリスペクトできる人物の育成を期さなければなりません。

磐城高校生の高い資質を十二分に生かしていく、組織としての学校を作る必要があるのです。組織は常に点検していかないと、どこからか水が漏れるように、いつの間にか人任せになるのが常です。そのことを肝に銘じ、新しい力をどんどん注入していくことに躊躇してはなりません。

学校が陥りやすいのは、前例主義です。前例にとらわれずに、いかに生徒にとって何が必要か、どのような準備をすべきか、生徒の心をどのように動かすのかをいつも心にとめておかないと、すぐに学校は停滞します。

授業がまずその表れです。授業が面白くないと学校は満足できません。面白いとは、その時間と空間に魅力があり、知の世界に自分が誘われることを実感することから始まります。授業が面白いことにより、教員への信頼が強くなります。信頼が生まれると、志が生まれます。志により、強い精神力が宿ります。その精神力が耐え忍ぶ勇気を生み、物事を打開する力を醸成し、どんな困難でも克服できる力を宿します。

耐え忍ぶ勇気を持つことこそ困難に打ち勝つ唯一の方法であります。

この期間の過ごし方によって、新しい学年のスタートが決まります。とにかく猶予を持って物事にあたりつつ、様々な危機をマネジメントしながら、最終的に行きつく自分のあるべき姿を思い描いて、そこを目標に進んでいかなければなりません。

この危機を味方につけて、ピンチをチャンスに変えて、磐城高校が組織的に進むべき道を共有していただければありがたいと考えます。

生徒一人一人の力を最大限に生かすための共有する手立てをもって進んでまいりたいと考えます。